

2 / 9

先負 月

旬のもの 河豚(ふぐ)

フグ科の総称。卵巣や肝臓などにテトロドトキシンという猛毒をもつものが多く、外敵に会うと大きく腹を膨らませ威嚇させるものもいます。

フグのはしりは11月頃ですが、2月あたりは脂がのって美味です。下関南風泊市場に集まるトラフグは味覚の王者とされています。漢字で「河豚」と書く由来は、中国では揚子江や黄河など、海よりも河に生息する河豚が親しまれていたことから「河」が使われ、膨れた姿が豚に似ていることと、釣り上げた時の音が豚の鳴き声に似ていることから、「豚」が使われるようになったとされます。

ふくの日

「ふ(2)く(9)」の語呂合わせから、下関ふく連盟が制定しました。下関では、河豚(ふぐ)は「ふく」と発音し、「福」と同じ音であることから縁起の良い魚とされています。毎年、この日に下関市内の恵比寿神社で、豊漁と航海安全を祈願する「ふくの日祈願祭」が行われています。

治虫忌

『鉄腕アトム』『ブラックジャック』など、後世につながる数々の名作を生みだし、漫画の神様として今なお多くのファンに愛される漫画家・手塚治虫が、1989（平成元）年のこの日に亡くなりました。漫画本専門古書店『まんだらけ』により制定され、“漫画の日”とも呼ばれています。

2 / 10

仏滅 火

旬のもの 跡の薹(ふきのとう)

キク科。雪解けとともに一番に顔を出すことから「春の使者」と言われます。雌雄異株の多年草で、早春、葉に先立ち地上に顔を出すつぼみを「ふきのとう」と呼んでいます。遅れて地下茎でつながっている葉の部分「ふき」が出てきます。ふきのとうはつぼみの開かない若芽の頃が旬で、苦味が少なく美味しい時に、天ぷら・汁の実・おひたし・田楽・ふきのとう味噌に。葉柄は、油炒めや、きやらぶきなどの料理にします。その独特的の苦味は冬季に体に蓄積された脂肪分を流し、味覚を刺激してくれます。苦味成分はアルカロイドといい、肝機能強化・疲労回復・新陳代謝の促進の効能があります。

ふとんの日

1997（平成9）年、全日本寝具寝装協会が「ふとんのお手入れなどの知識を身に付けてほしい」などのふとんのPRのために制定しました。「ふ(2)とん(10)」の語呂合わせから2月10日が記念日となりました。

ニットの日

神奈川県の編み物教室や編み物学校で組織された横浜手作りニット友の会が「ニッ(2)ト(10)」の語呂合わせで制定。1944（平成6）年には、日本ニット工業組合連合会が全国的な記念日として制定しました。この日は、ニット普及キャンペーンのためのイベントが行われています。